

一人一人が可能性や成長を自覚し、居心地の良い学級を目指して ～ケアの視点で子供と向き合う～

西之表市立下西小学校 教諭 竹下 清一郎

はじめに

本校は全学年単学級であり、94名の子供たちが仲良く生活しています。クラス替えも無く、お互いのことをよく理解しています。一方で、自己肯定感が低く、学級でありのままの自分を出せない子もいます。そこで、ケアの視点（以下参照）から、全員が自分や友達の可能性や成長を認識し、居心地の良さを実感できるような学級づくりに取り組みました。今回、その内容を紹介します。

ケアの視点

その子自身が本来もっている可能性を認め、成長しようと努力している存在として尊重すること。（ミルトン・メイヤロフ）

取組の実際



子供たち自身が、本来もっている課題を解決し成長につなげる力は、日々の生活の中での解決志向アプローチによって高まります。

そこで、学級だけではなく、他の職員や保護者へも協力をお願いし、一体となって子供たちを支え、育てています。

成長の省察

朝の会等で、学級のルールや学級目標など、自分たちで何かを決定する際には、写真のように円になり、意見を交わして決定していきます。

また、話合いの前後に、自分の考えをノートに書かせます。それに対して教師は必ず励ましや価値付けのコメントを書き、本人に返却し、互いに交流させています。



成長の自覚

日々の生活の中で見られる価値ある言動を写真で残し、キーワードを添えてパネルにしています。

また、自分の成長が友達や学級の成長とどうつながっているのか一目で分かるように、ハッシュタグを用いた掲示を作成しています。



【価値や成長をつなげる掲示】

【価値パネル】

連携して成長を支える

毎週の週報で学級の様子を家庭に丁寧に伝えることと同時に、毎学期始めに我が子の成長についてのアンケートを実施しています。アンケート内容を基に、子供一人一人に応じた声掛けや対応ができ、保護者と共に子供の成長を支えることができています。

アンケート項目

- ① 前学期（前学年）でお子さんが成長したと思うこと。
- ② 将来、お子さんにどんな人間になって欲しいと願うか。
- ③ ②に向けて、今学期に達成して欲しいこと。
- ④ お子さんの長所は。
- ⑤ 担任に知らせて起きたいことや、お願いしたいこと。

【アンケート】

おわりに

本校の学校評価項目（児童用）にある「学校は楽しいですか」及び「友達と仲良くすることはできましたか」において、「そう思う」、「たいへんそう思う」と答えた割合が1学期は100%でした。

一人一人の可能性を更に引き出すためにも、子供の実態を大切にし、成長する力を信じ、安心できる学級経営に努めていきたいと思ひます。

【参考】ミルトン・メイヤロフ（1987）『ケアの本質－生きることの意味』ゆみる出版